

【学習のねらい】

3枚の絵を見て、身近な生活の中であたりまえと感じている男女の役割分業や知らず知らずにイメージしてきた女性像・男性像に気づき、生活を見直していくきっかけづくりとする。

【進め方】

- (1) グループを作る。(アイスブレイキング・グルーピング参照)
- (2) 各自で、それぞれの絵を見て感じたことをワークシートに書きこむ。
 - ・ 性別による「らしさ」や役割に対する疑問
 - ・ 「らしさ」は必要だと思うこと
 - ・ その理由 など
- (3) 書き込んだことをもとに、グループで、男女の役割やつくられたイメージについて話し合う。

【留意点】

- (1) 行為についての善し悪しを問題にするのではなく、一人一人の考え方を大切にし、互いの考えを理解し合いながら、なごやかに話し合えるようにする。
- (2) 女だから(らしさ)、男だから(らしさ)を自分の経験や体験を踏まえ、抽象論でなく具体的な場面で問い直しができるようにする。
- (3) 女だから、男だからにとらわれないとはどういうことかを考え合うことで、気づきを深め合うこともよい。
- (4) 参加者の傾向や人数・時間により、1枚の絵について一斉に行うこともよい。
- (5) テレビコマーシャル、新聞のテレビ欄、童話、歌謡曲、雑誌の写真などをテーマに分析し、気づきを深めることもよい。



どんなおいしい食べ物ができるかな？

イラストを見て何を感じますか

～話し合ってみましょう～

.....

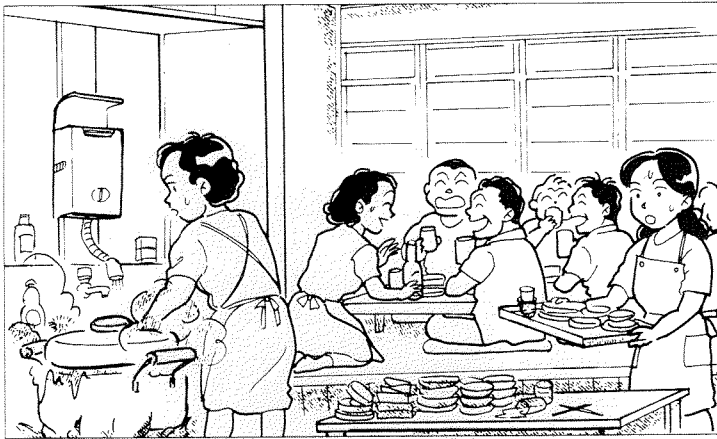
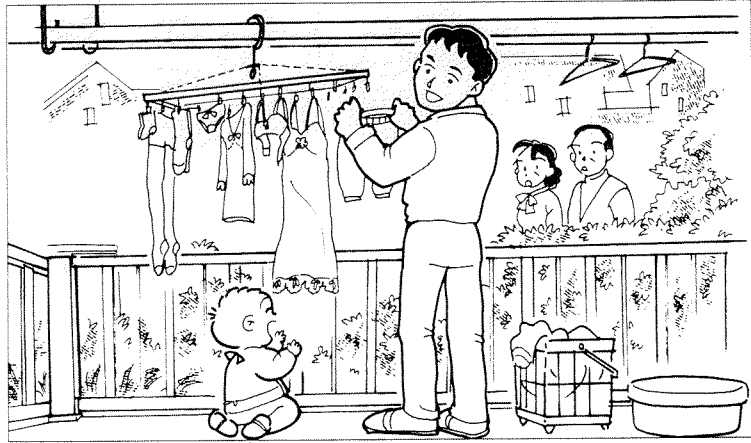
.....

.....

.....

.....

.....



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



女性の人権